

国際ロータリー第2590地区

例会： 毎週月曜日 12:30

例会場： サンプランTEL： 044-222-4416

事務所： 〒210-0011川崎市川崎区富士見1-7-16 第一吉新ビル2F
TEL： 044-233-3005 FAX： 044-233-8460



ロータリー：
変化をもたらす



会長
渡辺 雅夫



副会長
坂本 竜麻



幹事
伊藤 弘志

HP : <http://www.kawasaki-chuo-rc.com/>

第1482回 平成30年5月7日 VOL.33 No.37

川崎中央ロータリークラブ WEEKLY

● 司会……本多SAA

オフザバー

● 点鐘……渡辺雅夫会長

伊藤弘志幹事

● 国家 ……「君が代」斉唱

細谷健一様

● ロータリーソング 福与ロータリーソングリーダー

「それでこそロータリー」

出席報告

○ 本日のメニュー 和食

山口副出席委員長

ビジター紹介

山口親睦活動委員長

(川崎大師RC)

野澤隆幸様

	会員数	出席 該当者	出席者	欠席者	ホーム クラブ	メイク	前々回 修正
1482回	35	35	28	7	80.00		
1480回	35	33	25	8	75.75	2	81.81

(本多会員・山口会員)

5月の誕生日

山口幸太親睦活動委員長



島田喜彦会員 (4/18日)

阿野順一会員 (17日) 安東仁志会員 (29日)

小又義幸会員 (31日)

会長報告

渡辺会長

- 4月26日、川崎西北ロータリークラブの創立45周年記念式典に青木G補佐および 会長、幹事が出席しました。
川崎多摩と川崎稲生が2015年に合併したクラブで、会員数が22名、長岡会長はじめ会員の平均年齢は70歳とのこと。多摩区内では唯一のロータリークラブです。
- 5月2日～6日まで、川崎駅前で青木松枝会員の書画展が開催されました。ご本人の作品はもちろんですが、谷口定子会員の「善」一文字の書が目を引きました。

幹事報告

伊藤弘志幹事

- ◎ 例会変更のお知らせ
ありません。
- ◎ 週報を送ってくださったRC
ありません。
- ◎ 本日の配布物
会報 4/23の会報
マンスリーレター
ロータリーの友

スマイルレポート

坂本竜麻副会長

野澤隆幸様…青木さん、書作展で見事な各品を拝見しました。日頃のご努力の成果に敬服致しました。
(川崎大師RC)

- 渡辺会員……荒木様、社会の闇の部分での対応、大変だと思います。本日はよろしく。
- 伊藤(弘)会員…①本日はオプザーバーとして一級建築士の細谷さんをお連れしました。皆様よろしくお祈いします。
②荒木様ようこそ。卓話楽しみです。
- 川島会員……①家内の誕生祝にお花をありがとうございました。
②青木さん華心会書道展ご盛会おめでとうございます。
- 関 会員……家内のお誕生日祝いに花を送っていただき感謝申し上げます。
- 松本会員……①NPO法人荒木様、卓話勉強させていただきます。
②青木さん華心会ご盛況おめでとうございます。
- 森本会員……妻にお花ありがとうございます。
- 大石会員……今月も宜しくお祈いします。
- 青木会員……先週の華心会書展では、大勢のかたのご来場をいただきましてありがとうございました。おかげをもちまして成功裡に終わりました。
- 中村会員……荒木様本日の卓話楽しみです。
- 森川会員……皆様こんにちは。本日坂本さんの卓話楽しみにしております。荒木さんよろしくお祈い致します。
- 後藤会員……本日は荒木さんのお話を楽しみにしております。
- 野口会員……長い連休も終わりました。当方は土地草むしりに追われどこも出かけませんでしたがともかしこも混雑で小杉あたり空いてました。
- 石川会員……①青木さんの書展目の保養させていただきました。素晴らしかったです。
②佐野さんお世話になりました。
③本日荒木様卓話よろしくお祈い致します。
- 木村会員……本日の卓話、荒木信広様楽しみにしております。よろしくお祈い申し上げます。
- 渡部会員……①妻にお花ありがとうございました。
②連休中は前半はずっと仕事で群馬に泊まっていた。(大変疲れました)
③5/5に妻に言われて足利フラワーパークに行きましたが藤の花は枯れていました。とても残念です。(その帰りアウトレットに行かされバックを交わされました。)
- 坂本(将)会員…皆様こんにちは。GWは富士山の麓にキャンプに行ってきました。天気も良く非常に楽しく過ごせました。本日もよろしくお祈いいたします。
- 安東会員……坂本副会長ご紹介荒木様卓話よろしくお祈い致します。

- 牧島会員……やっとうるビズの季節になりました。ネクタイなしはありがたいです。
- 本多会員……先日青木さんの書画展を私も拝見しました。書画展をきちんと見るのが初めてだったのですが、ひとつひとつの書の異なる芸術性や素晴らしさを拝見してとても勉強になりました。青木さんにもいろいろお話を伺い、改めて青木さんの書家として職業の部分を知ることができて、いい1日でした。谷口さんの書もとても素晴らしい書で心に残りました。
- 福与会員……お誕生日おめでとうございます。卓話楽しみにしております。
- 石田会員……①皆さんこんにちは。GWは天気よかったですね。私はお酒チビチビ、仕事しながらTV野球観戦でした。フロンターレ残念、ベイは打ちまくリスカッとしました。
②本日卓話坂本副会長、荒木様よろしく申し上げます。
- 柳町会員……GWは体調崩して散々でした。すっかり回復したので良かったです。荒木様本日の卓話よろしくお祝い致します。
- 坂本(竜)会員…①森川さんナイスイーグルでした。
②信さん今日はよろしく申し上げます。

1482回	24件	42,000円	累計	578件	963,000円
-------	-----	---------	----	------	----------

卓話

ダークサイドから子供たちを救う ～悲しみと喜びは繋がっている～

NPO法人 心の居場所
代表 荒木信広様



渡辺会長指針『もういちどクラブを見つめ直そう』

プロフィール

昭和51年、暴力団の父母のもと神奈川県箱根町で生まれる。複雑な家庭環境のなか、いつしか心の中に闇と悲しみが棲みついていた。非行を繰り返し、更生施設の入退院を繰り返した少年期。成人後にも事業の失敗などからホームレスや鬱病を患う。荒れ果てた生活のなかでも、ずっと「人」が好きだった。暗闇の中だからこそ、光を求めた。その光が「人」だったからこそ、「人の心に光を」を人生のモットーにしてきた。そのため、多くの人から相談を受けることが多かった。不安と悩みに苦しむ人の相談に行き詰まりを感じたころ、「心理カウンセリング」を知り、学ぶ。以後、心理カウンセリングルームを開業。心身症、神経症、アイデンティティ障害で苦しむ成人の心理カウンセリングの活動を行った。ある中学校から、反社会的問題行動をとる生徒の対応で心理カウンセリングの要請があり、平成21年よりボランティア活動を開始する。自身の過去の経験を活かし、平成22年から小田原市教育委員会に籍をおき、小田原市を中心に各中学校内で非行少年の「心の居場所」となる相談室を設ける。水面下では、生徒指導の問題点や生徒指導の再構築計画を教職員と協働しチームで取り組んだ。平成29年10月に小田原市教育委員会を退職し、学校の枠を超え子ども達を闇の中から救う活動を始めることを決意。NPO法人「心の居場所」を設立する。

小田原市で教師の手に負えない中学生の指導にあたってきた心理カウンセラー、自らも過去に少年迂別所を入り出した「元不良」だが、売春や薬物、暴走行為に溺れる生徒を引き受け、「ノブさん」と親しまれてきた。「もっと大人に甘えていいよ」と、街でたむろする10代の居場所づくりに立ち上がる。荒木さんは今年10月まで5年間、市教育委員会の「生徒指導員」として、市内の中学校に派遣されてカウンセリングを行ってきた。相手にするのは、授業を受けずに校内で飲酒や喫煙に浸る「伺もできない先生の足元をみている」生徒たち。これまで1000人近くに接してきた。

問題の起きた学校に派遣されると、まず校内に「相談室」を作り、「きみの居場所はここだよ」と心を砕く。相談内容は展走族とのトラブルや妊娠、自殺願望など多岐にわたる。初めは、「うざい」「きもい」「死ね」としか返事ない生徒も丁寧な相談に乗ると心を聞いていく。その後は「1日1回のみ入室可」「授業から抜け出さない」などの約束を作り、行動を変えていく。「大人への正しい甘え方を知らない子が多い」と分析する。

「彼らの寂しさや、大人にいらつく気持ちは、体の感覚として分かる」。自らも10代の時、周囲への反抗から何度も障害事件を起し、少年院や、少年鑑別所へと収容された経験を持つ。すさんだ暮らしから立ち直らせてくれたのは、保護司の紹介で働き始めた会社の上司や、中学時代の恩師ら、周囲の大人たちだった。やてが「人をいかす」という心理学にめぐり合い、カウンセラーを目指した。

心理学の専門学校を卒業した8年ほど前、中学時代の恩師に誦われ、生徒指導に間わり始めた。その学校は教諭への暴力や授業離脱が目立ち「大人たちが生徒と会話できない」状況もみられた。生徒の悩みに耳を傾けるうち、「他の大人に攻撃的だった子が甘えてくれた」とやりがいを感じ、夜中でも電話で相談に乗った。親身な姿勢が次第に他校の評判を呼び、市教委から声がかかった。

一部の教諭は、自己流の指導法に難色を示すこともあるが、自身に懐く生徒を見て「一緒にチームを組ませてほしい」と歩み寄ってくるという。最近の生徒指導について「真面目すぎる先生が多い。生徒の『善』だけ求めるのではなく、『悪』の部分も認めてあげないと」と説く。

教え子が学校の外でトラブルに巻き込まれても、危険を顧みずに救助に向かう。売春に身を投じた生徒を救い出し、県警の摘発に協力したこともあったという。監禁された教え子を助け出したことも一度や二度ではない。「今から包丁で死ぬ」と電話で告げられ、慌てて駆けつけたことも。「先生、久しぶりに会おうよ」。卒業した教え子かえらの相談も多い。箱根町の実家に招き、一緒に温泉に入る。「もう外で悪さするなよ」。そう背中に語りかけ、汗を流してあげる。



華心会書展

叶 春華 書画展

5月2日～6日まで青木松枝会員（叶 春華 師範）の華心会書展がアートガーデンかわさきで催された。



卓話予定

5月14日(月) 会計委員長卓話

坂本将平会員

今週の担当者

石川会員

会報委員 石川三枝子 石田 幸兒 坂本 将平
阿野 順一 牧島 聡 小又 義幸
事務局 伊藤 清恵

川崎中央ロータリークラブWeekly
Vol. 33 No. 37
編集・作成 川崎中央RC事務局
発行日 平成30年5月7日

